

社会資本総合整備計画（社会資本整備総合交付金）

平成29年 3月28日

計画の名称	39 市民生活を支える質の高い道路空間の確保（防災・安全）	重点配分対象の該当
計画の期間	平成25年度～平成29年度（5年間）	交付対象 瀬戸市
計画の目標		

目標1：既存道路の舗装修繕等により、道路を走行する自動車利用者が安全、快適に利用できる道路空間の形成を目指す
 目標2：既存道路の舗装修繕等により、沿道住民の生活環境の改善を図ることを目指す

計画の成果目標（定量的指標）

- ① 舗装修繕計画に位置付けられている既存道路の舗装修繕により、道路環境の安全性、快適性向上を図り、整備率82.5%を目指す。
- ② 既存道路の舗装修繕より、道路の利便性に関する満足度の2.9%増加を目指す。

定量的指標の定義及び算定式

定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値			備考
	当初現況値 (H25当初)	中間目標値 (H27)	最終目標値 (H29末)	
①既存道路の舗装修繕率 瀬戸市の市道のうち、舗装修繕計画に位置付けられている道路の舗装修繕率 (舗装修繕率)=(整備済み延長+5年間で実施する整備延長)/(舗装修繕計画の総延長)	51.9%	70.4%	82.5%	
②道路の利便性に関する満足度 道路が整備され、車で市内をスムーズに移動できていると感じている人の割合 (道路の利便性に関する満足度)=(「そう思う」、「どちらかといえばそう思う」と答えた人)/(合計)	49.1%	50.5%	52.0%	

全体事業費	合計 (A+B+C)	316百万円	A	310百万円	B	0百万円	C	6百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)	2%
-------	------------	--------	---	--------	---	------	---	------	---------------------------	----

交付対象事業

A1 道路事業													全体事業費 (百万円)	費用便益費	個別施設計画 策定状況	備考			
番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	道路 種別	省略 工種	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)								
											H25	H26	H27	H28	H29				
39-A-1	道路	一般	瀬戸市	直接	—	市町村道	修繕	(1) 駒前線ほか11路線	舗装修繕 L=6400m	瀬戸市						310		-	
合計																310			

B 関連社会資本整備事業													全体事業費 (百万円)	費用便益費	備考		
番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	省略 工種	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間(年度)							
										H25	H26	H27	H28	H29			
合計											0						

番号	一体的に実施することにより期待される効果	備考
----	----------------------	----

C 効果促進事業													全体事業費 (百万円)	備考		
番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	省略 工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間(年度)						
										H25	H26	H27	H28	H29		
39-C-1	調査・計画	一般	瀬戸市	直接	—	調査・計画	事業効果分析	事後評価	瀬戸市						—	事業廃止
39-C-2	調査・計画	一般	瀬戸市	直接	—	調査・計画	路面性状調査	舗装修繕計画作成	瀬戸市						6	
合計											6					

番号	一体的に実施することにより期待される効果	備考
39-C-1	目標指標の達成状況を確認し、事業効果を分析するとともに、今後の事業への課題等を整理できる。	
39-C-2	整備計画の初年度に舗装修繕計画を策定することにより、現在計画中の修繕計画を見直し、より効果的かつ効率的な修繕を実施することが可能となる。	

交付金の執行状況

(単位：百万円)

	H25	H26	H27	H28	H29
配分額 (a)	-	24.750	25.737	21.120	
計画別流用 増△減額 (b)	-	0.000	0.000	0.000	
交付額 (c=a+b)	-	24.750	25.737	21.120	
前年度からの繰越額 (d)	-	0.000	0.000	0.000	
支払済額 (e)	-	24.750	25.737	21.120	
翌年度繰越額 (f)	-	0.000	0.000	0.000	
うち未契約繰越額 (g)	-	0.000	0.000	0.000	
不用額 (h = c+d-e-f)	-	0.000	0.000	0.000	
未契約繰越+不用率 (h = (g+h)/(c+d))	-	0.0	0.0	0.0	
未契約繰越+不用率が10% を超えている場合その理由	-	-	-	-	

※ 平成26年度以降の各年度の決算額を記載。

社会資本総合整備計画

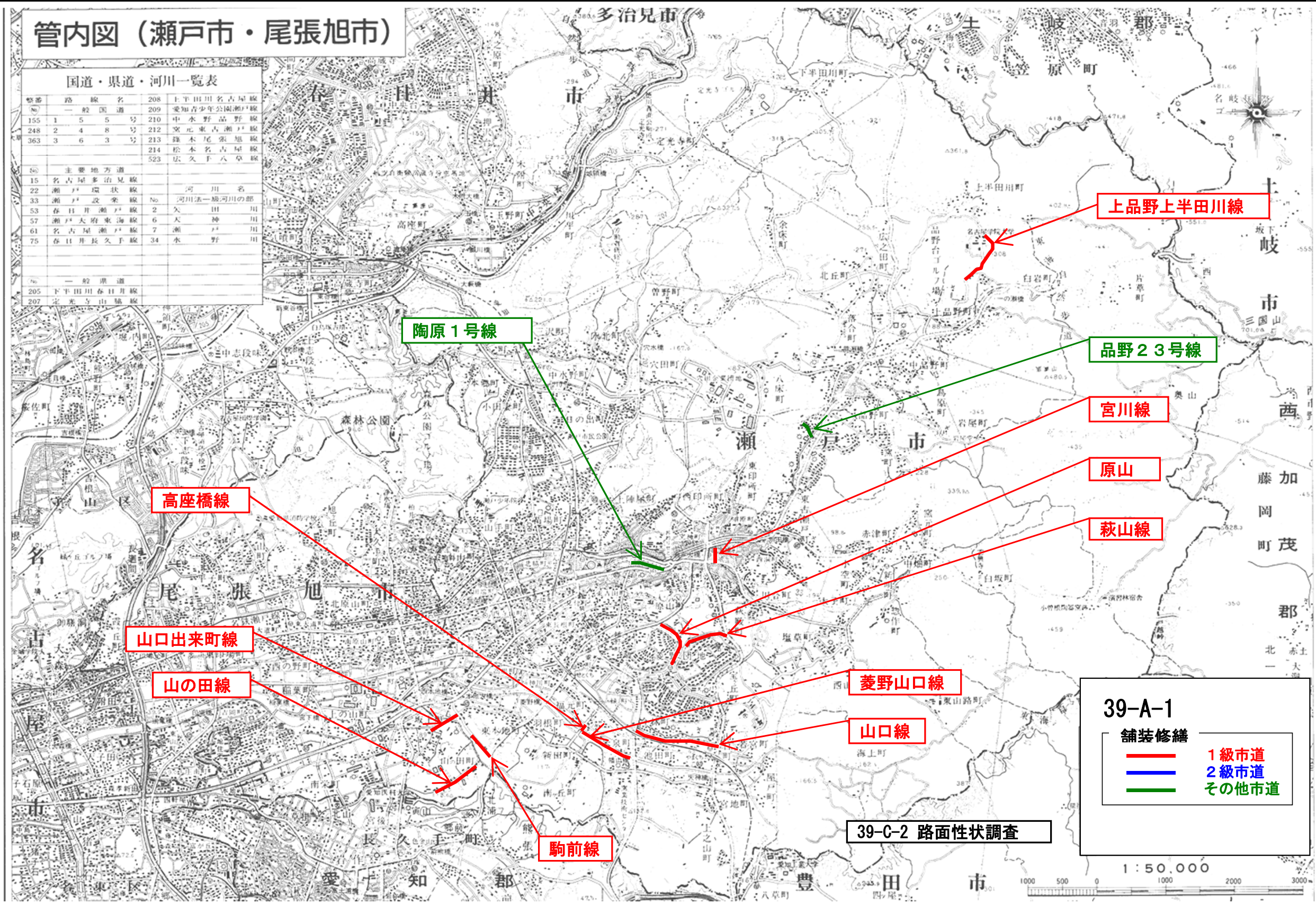
計画の名称	39 市民生活を支える質の高い道路空間の確保 (防災・安全)		交付対象	瀬戸市
計画の期間	平成25年度 ~ 平成29年度 (5年間)			

管内図 (瀬戸市・尾張旭市)

番号	路線名	208	上半田川名古屋線
155	1 5 5 号	209	愛知青少年公園瀬戸線
248	2 4 8 号	210	中水野品野線
363	3 6 3 号	212	宮川東古瀬戸線
		213	鎌木尾張旭線
		214	松本名古屋線
		523	広久下八草線

No. 主要地方道		No. 河川名	
15	名古屋多治見線	No.	河川法一般河川の部
22	瀬戸環状線	2	次田川
33	瀬戸波楽線	6	大神川
53	春日井瀬戸線	7	瀬戸川
57	瀬戸大府東海線	34	水野野川
61	名古屋瀬戸線		
75	春日井長久手線		

No. 一般県道	
205	下半田川春日井線
207	定栄寺山線

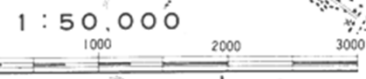


39-A-1

舗装修繕

- 1級市道
- 2級市道
- その他市道

39-C-2 路面性状調査



社会資本整備総合交付金チェックシート

(汎用タイプ)

計画の名称：市民生活を支える質の高い道路空間の確保

事業主体名：瀬戸市

チェック欄

I. 目標の妥当性	
①上位計画等との整合性	○
②地域の課題への対応(地域の課題と整備計画の目標の整合性)	○
II. 計画の効果・効率性	
①整備計画の目標と定量的指標の整合性	○
②定量的指標の明瞭性	○
③目標と事業内容の整合性	○
④事業の効果(要素事業の相乗効果等)の見込みの妥当性	○
III. 計画の実現可能性	
①円滑な事業執行の環境(事業熟度、住民等の合意形成等を踏まえた事業実施の確実性)	○
②地元の機運(住民、民間等の活動・関連事業との連携等による事業効果発現の確実性)	○